

# 「見える」安全活動

## (目的)

外国人従業員の増加に伴い、製造機械による労働災害防止のため、安全な取扱いを教育すると共に機械の怖さを自ら体験して、重大事故防止に繋げる。

## (取り組み)

義手を用いて機械(重大)災害の講習会を行い擬似体験をさせる。  
また、定期的な教育資料として、講習会の様子を撮影し、DVD映像による反復教育を実施。

# 「見える」安全活動

(取り組み、発想の理由)

これまで食材(ウインナー等)を用いて挟まれ・巻き込まれ・切創事故の安全教育を行っていた時、偶然にも本物の指であるかのような画像が取れたことで、機械の恐ろしさ(リアリティ)が従業員に伝わった。



※指ではありません。ウインナーです。

# 「見える」重大災害防止教育

(本格的な講習会を目指して)

リアルな体験教育が効果をもたらすことから、精巧な義手を制作して、機械事故を疑似体験。  
講習会の趣旨・目的を説明、担当従業員に義手を触ってもらい、自分自身の手、指であるかのように錯覚させた上で機械事故を引き起こす(講習)ことで、より一層機械への恐怖心が芽生え、機械の安全な取り扱いの重要性を理解してもらおう。

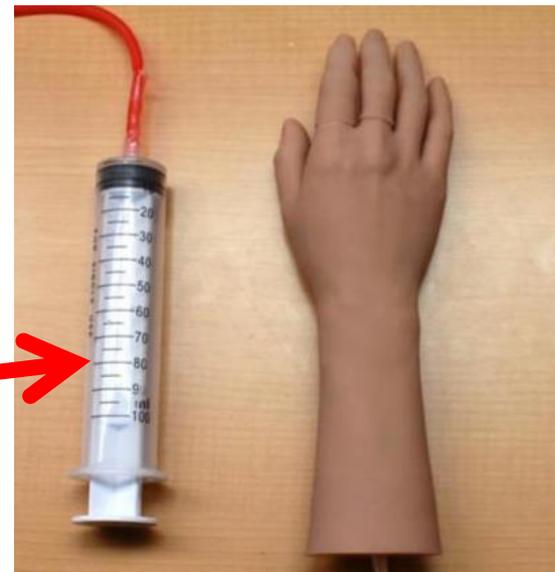


# 「見える」重大災害防止教育

保護具着用ルール及び安全ルール（弊社、機械取扱い5原則）を守らなかった場合、取り返しのつかない事故になることを義手を用いて実体験する。

女性パートの比率が高いため、一般的な女性の手をモデルとして制作。

※この注射器は、食紅等を仕込み、義手(指)が切創、切断した際に演出として噴出す仕組み。



# 「見える」機械取扱い5原則

1. 機械取扱者には、使用方法を教育した上で操作させる。  
「見よう見まね、～だろう」で操作させない！
2. 機械・設備の調整・修理は、機械の調整・修理を周囲に周知したうえで機械が完全に停止しているのを確認してから行う。
3. 機械の清掃・分解をする場合は、必ず電源を切る(OFF)にして機械が完全に停止しているのを確認してから行う。
4. 機械の稼働中は、絶対に機械に手など身体を入れない、いれさせない。
5. 機械起動時は、他に機械を調整・清掃等をしている人がいないのを確認して、起動することを声掛けしてから起動する。

# 「見える」危険体験講習会



義手を自分の手、指に見立てててカット作業した時の切創事故の体感させる。



切創、切断したタイミングで仕込んでいたトマトジュースを噴射した。



講習時、安全を確保した状態で、実際の機械に義手を挟ませ、義手が切断されることで、義手を通して自分の手が挟まれたことを疑似体験。



実施した講習会の動画をDVD化して定期的に視聴。(反復教育)